



薄膜研究助成 6人に決定

サムコ科技
振興財団

【京都】サムコ科学
技術振興財団（京都市

伏見区、辻理事長）は、2022年度（第6回）の薄膜技術に関する研究助成対象者を決めた。関西学院大学理学部化学科の田中大輔教授ら6人で、助成金額は各200万円。

同日、スマートフォンの顔認証技術などに応用されている、垂直共振器面発光レーザー（VCSEL）の発明者である東京工業大学元学長の伊賀健一氏による記念講演を開催予定。

6回目となる今回の研究助成には82人が応募。従来から定数を1人増やし、6人選定した。

9月14日に、京都市サーチパーク（京都市下京区）で対象者への研究助成金贈呈式を行う。

同日、スマートフォンの顔認証技術などに応用されている、垂直共振器面発光レーザー（VCSEL）の発明者である東京工業大学元学長の伊賀健一氏による記念講演を開催予定。